

# 実践的な職業教育を行う新たな高等教育機関の制度化について

背景

## 経済社会の状況

- 産業構造の急激な転換  
(第四次産業革命、国際競争の激化)  
→職業の盛衰のサイクルの短期化、予測の困難化
- 少子・高齢化の進展、生産年齢人口の減少  
→労働生産性向上に向けた要請
- 就業構造の変化  
→ジョブ型雇用へのシフト、企業内教育訓練の縮小

## 高等教育をめぐる状況

- 高等教育進学率の上昇(大学教育のユニバーサル化)  
→学生の資質やニーズの多様化(大学の機能別分化の必要性)
- 産業界等のニーズとのミスマッチ  
→より実践的な教育へのニーズ、社会人の学び直しニーズへの対応
- より積極的な社会貢献への期待と要請  
→変化の激しい社会に対応した人材、成長分野を担う人材の育成

新しいタイプの人材育成の強化が急務

今後の成長分野を見据え、新たに養成すべき専門職業人材

**高度な実践力** 理論にも裏付けられた高度な実践力を強みとして、専門業務を牽引できる人材

**豊富な創造力** 変化に対応して、新たなモノやサービスを創り出すことができる人材

- 《例》【観光分野】:適確な接客サービスに加えて、サービスの向上や旅行プランの開発を企画し、実行できる人材  
【農業分野】:質の高い農産物の生産に加えて、直売、加工品開発等も手掛け、高付加価値化、販路拡大等を先導できる人材  
【情報分野】:プログラマーやデザイナーとしての実践力に加えて、他の職業分野と連携し、新たな企画構想を商品化できる人材

など

## 新たな高等教育機関

### 大学・短大

- 幅広い教養や、学術研究の成果に基づく知識・理論とその応用の教育

豊かな創造力

高度な実践力

### 専門学校

- 特定職種の実務に直接必要となる知識や技能の教育

大学体系への位置付け

独自の基準の設定

国際通用性の担保

高等教育としての質保証

実践的な職業教育にふさわしい教育条件の整備

## 制度設計

- 【教育内容】
- ・「実践力」と「創造力」を育む教育課程
  - ・産業界等と連携した教育課程の開発・編成・実施
  - ・実習等の強化(卒業単位の概ね3~4割以上、長期の企業内実習等)
- 【教員】
- ・実務家教員を積極的に任用(必要専任教員数の4割以上)  
※専任実務家教員の必要数の半数以上は、研究能力を併せ有する実務家教員
- 【学生受入】
- ・社会人、専門高校卒業生など多様な学生の受入れ  
※社会人も学びやすい柔軟な履修形態  
※短期の学修成果の積み上げによる学位取得等も促進
- 【修業年限】
- ・4年(大学相当)、2年又は3年(短期大学相当)  
※4年制の課程については、前期・後期の区分制の導入も可
- 【学位】
- ・4年制修了者には、「学士(専門職)」を授与
  - ・2・3年制修了者、4年制前期修了者には、「短期大学士(専門職)」を授与
- 【学部等設置】
- ・大学・短期大学における「専門職学部・学科」も制度化